

令和 3 年 度

事業報告書

第 26 期

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日



社会福祉法人 天祐会

千葉県千葉市中央区新町17番地12

目 次

社会福祉法人天祐会概要	2
各事業所別事業報告	
法人本部（千葉市）	5
大佐和苑（富津市）	7
鋸南苑（鋸南町）	11
富士見苑（富津市）	14
天羽苑（富津市）	16
みらい保育園（千葉市）	18
竜神苑（東庄町）	21
広尾苑（市川市）	25
広尾みらい保育園（市川市）	28
木更津みらい学舎（木更津市）	31
請西苑（木更津市）	33
千葉みらい響の杜学園（千葉市）	38
認定こども園木更津みらい（木更津市）	41
未来の杜（千葉市）	45
子里（千葉市）	47
希望の杜（富津市）	50

1. 法人概要

法 人 名	社会福祉法人 天祐会
法人設立年月日	平成 7 年 10 月 26 日
代 表 者 名	理事長 高橋 進一
法 人 所 在 地	千葉県千葉市中央区新町 17 番地 12
電話番号・FAX 番号	電話：043-202-2727 FAX：043-202-2737
従 業 員 総 数	420 名（令和 4 年 3 月 31 日現在）

2. 理 念

私たちは「ご利用者様第一主義」を理念とし、「やさしさ」「思いやり」「あたたかさ」のある支援を心がけます

3. 沿 革

平成 7 年 10 月 社会福祉法人天祐会 設立

平成 9 年 4 月 ケアハウス大佐和苑 開苑
大佐和苑デイサービスセンター 開苑

平成 10 年 4 月 大佐和苑在宅介護支援センター 開苑

平成 11 年 4 月 特別養護老人ホーム鋸南苑（従来型） 開苑
鋸南苑ショートステイ（従来併設型） 開苑

平成 12 年 4 月 大佐和苑在宅介護サービス 事業開始
鋸南苑デイサービスセンター 開苑

平成 14 年 2 月 大佐和苑訪問入浴 事業開始
9 月 グループホーム富士見苑 開苑
富士見苑デイサービス 開苑

平成 16 年 1 月 鋸南苑ショートステイ 増築（ユニット型 4 名）
2 月 特別養護老人ホーム鋸南苑 増築（ユニット型 30 名）
7 月 グループホーム富士見苑 増築（9 名から 18 名定員へ）
8 月 グループホーム富士見の家 開苑

平成 18 年 12 月 グループホーム天羽苑 開苑

平成 19 年 3 月 天羽苑デイサービス 開苑
4 月 みらい保育園 開園

平成 20 年 4 月 特別養護老人ホーム竜神苑 開苑
10 月 小規模多機能ホーム竜神苑 開苑

平成 22 年 2 月 特別養護老人ホーム広尾苑 開苑
4 月 広尾みらい保育園 開園
木更津みらい学舎 開園

平成 23 年 4 月 第 2 代理事長に石岡英明が就任

平成 24 年 3 月 請西苑デイサービスセンター、グループホーム請西苑 開苑
9 月 特別養護老人ホーム請西苑 開苑

平成 25 年 3 月 富士見の家 廃止
 平成 25 年 4 月 天羽苑サービス付き高齢者向け住宅 開苑
 平成 26 年 2 月 第 3 代理事長に水野茂が就任
 平成 26 年 4 月 児童養護施設千葉みらい響の杜学園 開園
 平成 26 年 4 月 富士見苑デイサービス 廃止
 平成 26 年 7 月 千葉みらい響の杜学園子育て短期支援事業 開始
 平成 27 年 2 月 竜神苑賃貸開始
 平成 28 年 10 月 天羽苑サービス付き高齢者向け住宅 廃止
 平成 29 年 4 月 認定こども園木更津みらい 開園
 木更津みらい学舎木更津みらい会館 開園
 児童自立援助ホーム未来の杜 開園
 平成 29 年 6 月 第 4 代理事長に森田恵が就任
 平成 30 年 3 月 天羽苑デイサービス 廃止
 平成 30 年 4 月 第 5 代理事長に高橋進一が就任
 地域小規模児童養護施設ひまわりの家 開園
 平成 31 年 4 月 千葉みらい響の杜学園 小規模グループケア化
 令和 2 年 10 月 蒼空ホーム（千葉みらい響の杜学園）
 令和 3 年 4 月 児童家庭支援センター子里 開設
 令和 3 年 4 月 自立援助ホーム希望の杜 開園
 令和 3 年 10 月 自立援助ホーム希望の杜子育て短期支援事業 開始

4. 事業内容

- 第一種社会福祉事業
 - 軽費老人ホーム大佐和苑の設置運営
 - 特別養護老人ホーム鋸南苑の設置運営
 - 特別養護老人ホーム竜神苑の設置運営
 - 特別養護老人ホーム広尾苑の設置運営
 - 特別養護老人ホーム請西苑の設置運営
 - 児童養護施設千葉みらい響の杜学園の設置運営
- 第二種社会福祉事業
 - 老人デイサービス事業（大佐和苑）
 - 老人短期入所事業（鋸南苑）
 - 老人介護支援センター事業（大佐和苑）
 - 老人デイサービス事業（鋸南苑）
 - 老人居宅介護等事業（大佐和苑）
 - 認知症対応型老人共同生活援助事業（富士見苑）
 - 認知症対応型老人共同生活援助事業（天羽苑）
 - 老人デイサービス事業（天羽苑）
 - 保育所みらい保育園の設置運営
 - 老人短期入所事業（広尾苑）

保育所広尾みらい保育園の設置運営

地域子育て支援拠点事業（広尾みらい保育園）

放課後児童健全育成事業（木更津みらい学舎）

認知症対応型老人共同生活援助事業（請西苑）

認知症対応型老人デイサービス事業（請西苑）

子育て短期支援事業（千葉みらい響の杜学園）

子育て短期支援事業（希望の杜）

幼保連携型認定こども園（認定こども園木更津みらい）

放課後児童健全育成事業（木更津みらい会館）

児童自立生活援助事業（未来の杜）

児童自立生活援助事業（希望の杜）

○ 公益を目的とする事業

居宅介護支援事業（大佐和苑）

○ 収益を目的とする事業

建物賃貸業の経営（竜神苑）

■ 事業報告概要 ■

法人の業務管理体制を強化するため、人事・処遇等の諸規程の見直しを継続的に実施した。人材採用について、コロナ禍で保育士養成校回りができず苦慮した。インターネットを通じた募集活動の継続、人材紹介会社の利用により職員の補充をしている。

新規事業は、グループホーム富士見苑敷地内にある旧富士見苑デイサービス建物を改築し、令和3年4月に自立援助ホームとして15名定員の希望の杜が開園した。

1. 実施状況

(1) 法人研修会の企画・運営

新型コロナウイルス感染症の影響のため、昨年度に引き続き令和3年度も施設長会議の開催はせず、必要に応じてEメール等による連絡に留まった。

(2) 理事会及び評議員会開催状況

日 時	議会名	定足数 (理 事) (評議員) (監 事)	議 題
6 月 14 日	第一回 理事会 (書面)	— — —	① 令和2年度 事業報告 ② 令和2年度 決算報告 ③ 令和2年度 理事長専決事項報告 ④ 各種契約 ⑤ 会計監査人報酬 ⑥ 本部事務所賃貸契約更新 ⑦ 定款変更（基本財産 建物） ⑧ 第十四期役員（理事及び監事候補者）選任 ⑨ 第十二期評議員候補者選任 ⑩ 第二期評議員選任・解任委員選任 ⑪ 評議員会日時の変更
6 月 25 日	第一回 評議員会 (書面)	— — —	① 令和2年度 事業報告 ② 令和2年度 決算報告 ③ 定款変更（基本財産 建物） ④ 第十四期役員（理事及び監事）選任
6 月 25 日	第二回 理事会 (書面)	— — —	① 理事長選定 ② 業務執行理事選定 ③ 理事長報酬 ④ 運営規程変更
9 月 30 日	第三回 理事会 (書面)	— — —	① 令和3年度第一次補正予算案 ② 施設整備・人件費積立資産等取崩し ③ 各種契約 ④ 運営規程変更 ⑤ 新規事業計画（富津市青堀保育園）

			⑥ 施設長人事（本部） ⑦ 令和３年度第二回評議員会 日時変更
10月15日	第二回 評議員会 （書面）	— — —	① 令和３年度第一次補正予算案
2月25日	第四回 理事会 （書面）	— — —	① 令和３年度第二次補正予算案 ② 令和４年度事業計画案 ③ 令和４年度当初予算案 ④ 前期末支払資金残高取崩し等 ⑤ 施設整備積立資産取崩し等 ⑥ 各種契約 ⑦ 継続契約（自動更新） ⑧ 評議員会日時の変更
3月18日	第五回 理事会 （書面）	— — —	① 諸規程変更
3月28日	第三回 評議員会 （書面）	— — —	① 令和３年度第二次補正予算案 ② 令和４年度事業計画案 ③ 令和４年度当初予算案

(3)施設長等人事

役 職 名	氏 名	就任期間
請西苑施設長	岩 崎 脩	令和３年４月１日 ～ 現在
本 部 長	三浦 由佳	令和３年８月１日 ～ 現在

(4)法人内会議の実施状況

実施年月日	主 た る 議 題
4月13日	中止
5月25日	中止
6月1日	中止
7月13日	中止
8月17日	中止
9月21日	中止
10月9日	中止
11月16日	中止
12月14日	中止
1月18日	中止
2月15日	中止
3月15日	中止

■ 事業報告概要 ■

＜ケアハウス＞

今年度は、大佐和苑の基本理念及び運営方針に基づき、入居者の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中、快適に生活出来るよう例年の対策に加え、更なる環境作りや入居者のニーズに応じた生活支援を行いました。また、感染状況や政府の対策を考慮した上で、十分に対策を行い、様々な行事や娯楽等を工夫し企画しました。今まで通りの生活とはなりませんが、年間行事計画通り余暇活動を提供し、季節を感じて頂きたく、目を見て・肌で感じ・舌で味わって頂けるよう工夫し、より一層充実した生活が出来るようサービスの向上に努めました。

修繕としましては、今年度分の空調設備更新として、浴室脱衣所系統、床暖房設備の熱交換器更新をしました。

職員研修につきましては、まだまだ外部研修を受講する事が難しいので、施設内研修を充実させ、初心に戻り振り返りを実行しました。

＜デイサービス・支援センター・介護サービス＞

感染防止に細心の注意を払い、通常通りの運営をしましたが、例年と変わらずに運営する事が出来ました。

＜ケアハウス＞

1. 実施状況

①サービス内容

○生活指導

- ・趣味活動の充実
- ・充実した生活を送っていただく為の各種行事計画を実施した

○栄養

- ・苑の菜園で収穫した新鮮な野菜を食卓に提供した
- ・地元の協力を得て、地場の魚・野菜を積極的に取り入れた
- ・選択メニュー・行事食等の工夫

○健康管理

- ・体重測定・血圧測定を実施し苑でも健康チェックを行い、医師による定期的な健康診断や提携病院との連絡を密にし、健康管理を十分に行った

○地域交流

- ・なし

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	お花見バスハイク	10 月	ふかし芋会
5 月	菖蒲湯	11 月	干し柿作り

6 月	紫陽花壁貼紙作り	12 月	紅葉狩りバスハイク・柚子湯
7 月	七夕飾り付け	1 月	初詣
8 月	納涼祭（お祭り献立）	2 月	節分
9 月	敬老会・害虫駆除	3 月	ひな祭り～桜餅作り～

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	定例職員会議 基本理念	10 月	定例職員会議 コロナウイルス感染症対策
5 月	定例職員会議 認知症対応	11 月	定例職員会議 プライバシー保護
6 月	定例職員会議 消防訓練	12 月	定例職員会議 介護技術
7 月	定例職員会議 食中毒対応	1 月	定例職員会議 事故防止対応
8 月	定例職員会議 緊急時対応	2 月	定例職員会議 虐待防止対応
9 月	定例職員会議 感染症対応	3 月	定例職員会議 防災訓練

②防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、入居者の安全確保に努めるとともに、法令及び県の基準に基づき救急事態に備えて、以下の通り訓練を入居者・職員が合同で実施した。

- ・自主訓練 6 月 3 日
- ・消防署立ち合い 3 月 25 日

③職員状況

- ・管理者 1 名（常勤兼務）
- ・生活相談員 1 名（常勤）
- ・介護員 3 名（常勤）
- ・栄養士 1 名（常勤）
- ・調理員 6 名（常勤 4 名、非常勤 2 名）
- ・その他 2 名（非常勤）

<大佐和苑デイサービスセンター>

1. 実施状況

①サービス内容

○居宅サービス計画を基本としたサービス提供

- ・入浴サービス
- ・健康チェック
- ・給食サービス
- ・レクリエーション活動
- ・機能訓練指導
- ・送迎サービス

○利用者の意向を尊重したサービス提供

- ・希望利用時間への対応
- ・介護事故防止のための検討と対応

○通所介護計画の作成

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	苑のさくら花見	10 月	ふかし芋会
5 月	菖蒲湯	11 月	紅葉ドライブ
6 月	紫陽花見ドライブ	12 月	ゆず湯・クリスマス会
7 月	七夕	1 月	初詣ドライブ
8 月		2 月	節分会
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り

*その他、毎月お誕生日のお祝いを実施

<大佐和苑在宅介護支援センター>

1. 実施状況

①サービス内容

- 居宅介護支援事業者
 - ・ケアプランの作成
- 要介護認定訪問調査（各市町村委託）
 - ・認定訪問調査の実施

2. 施設管理

①職員状況

- ・管理者 1 名（兼務）
- ・介護支援専門員 2 名（専任 1 名兼務 1 名）

<大佐和苑在宅介護サービス>

1. 実施状況

①サービス内容

- 居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供

- ・身体の介護に関すること

- ・生活の介護に関すること

○利用者の意向を尊重したサービス提供

- ・希望時間への対応

- ・介護保険法に基づく適切なサービス内容の提供

○通所介護等、他の介護保険サービス事業との連携

○かかりつけ医等、医療事業者との連携

○訪問介護計画の作成

2. 施設管理

①職員状況

・管理者	1名（兼務）	・提供責任者	1名	・訪問介護員	3名（兼務）
------	--------	--------	----	--------	--------

■ 事業報告概要 ■

＜特別養護老人ホーム＞

今年度は、秋頃から体調を崩す入居者が増加し、入院や退所者が増え稼働率が80%台に落ち込みました。更に令和4年1月23日に多床室の入居者にコロナ陽性者が発生し、その後入居者16名、職員11名が感染するクラスターとなったことにより、新規の入所を見合わせ、稼働率が80%を割る状況となりました。クラスター発生時は、入院出来た一部の他は苑で療養となったため、保健所の指示と協力病院の指導の下、全職員協力し収束まで乗り切りました。

3月には新規入居3名を受け入れの他、積極的に判定会議を開催するなど満床に向け取り組みました。

施設では、老朽化に伴いボイラーの更新工事、本館1階西側のエアコン更新工事を行った他、業務用洗濯機、温冷配膳車1台、事務用複合機をリースにて更新しました。

＜ショートステイ＞

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、8月末から9月上旬にかけてと、1月下旬から2月末までは鋸南苑でコロナ感染者の発生で受け入れを中止したことにより、稼働率が低下し、年間では38%となり、昨年の54.8%と比べかなり低くなりました。3月からは本館にて長期利用者を2名受け入れるなど改善に努めました。

＜デイサービス＞

昨年秋頃から他のサービスを利用するなどで利用者が減少し、また8月の新型コロナウイルス感染症の影響による業務中止と、1月23日から2月1日までのクラスターによる業務中止により、年間の稼働率は33.8%となりました。利用者には迎車に乗る前に検温し、車中はマスク着用、デイルームではソーシャルディスタンスを心掛けるなど感染対策をしながら、機能訓練や季節ごとのイベントを企画し楽しい時間を過ごせるよう工夫しました。

1. 実施状況

＜特別養護老人ホーム、短期入所生活介護＞

①サービス内容

- ・ 日常生活支援
- ・ 食事
- ・ 入浴サービス
- ・ 利用者や家族の相談や苦情解決対応、援助業務
- ・ 介護計画の作成
- ・ 身体機能訓練
- ・ 健康管理
- ・ 余暇支援
- ・ 買い物支援、その他

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	お花見ドライブ（中止） お茶会（中止）	10 月	秋祭り縁日
5 月	鯉のぼりドライブ（中止）	11 月	紅葉ドライブ
6 月	あじさいドライブ（中止） 買い物ツアー（中止）	12 月	クリスマス会 冬のお楽しみ会
7 月	手持ち花火大会	1 月	初詣・獅子舞い
8 月	フロアでスイカ割り、納涼祭（中止）	2 月	節分、豆まき（フロア）
9 月	敬老会（ボランティア）（中止） 保田祭礼（中止）	3 月	ひな祭り・写真撮影（フロア）

2. 施設管理

①職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	職員会議・衛生委員会・感染症リーダー研修（4/6）	10 月	職員会議・衛生委員会・施設長及び事務担当者研修会
5 月	職員会議・衛生委員会	11 月	職員会議・衛生委員会・町主催集団指導（11/10）
6 月	職員会議・衛生委員会・福祉避難所運営研修（6/14 町主催）・精神疾患を抱える利用者の対応について（6/23）	12 月	職員会議・衛生委員会
7 月	職員会議・衛生委員会・新型コロナ感染防止対策とリスク管理のポイント（7/20）・施設長及び事務担当者研修（7/28）	1 月	職員会議（中止）・衛生委員会（中止）
8 月	職員会議・衛生委員会・認知症研修会（8/1）	2 月	職員会議（中止）・衛生委員会（中止）
9 月	職員会議・衛生委員会 これからの感染予防について（産業医講演）	3 月	職員会議・衛生委員会

②消防訓練（年 2 回実施）

- ・ 6 月 28 日 自主避難訓練
- ・ 11 月 28 日 総合避難訓練

③職員配置

- ・施設長 1名 ・副施設長 1名 ・介護支援専門員 1名 ・生活相談員 1名
- ・事務主任 1名 ・事務員 2名 ・用務員 4名
- ・看護師 4名 ・機能訓練指導員 2名（兼務） ・介護員 41名（パート含む）
- ・管理栄養士 1名 ・栄養士 1名 ・調理員 8名（パート含む）

<デイサービスセンター>

1. 実施状況

①サービス内容

- ・入浴サービス
- ・健康チェック
- ・給食サービス
- ・レクリエーション活動
- ・機能訓練指導
- ・送迎サービス
- ・通所介護計画の作成

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	お花見ドライブ、お茶会	10 月	へちまの収穫、秋の運動会 クリスマスリース作り
5 月	すごろく作り、紫陽花作り グリーンカーテンの種まき	11 月	紅葉ドライブ、もみじ作り
6 月	紫陽花ドライブ（鋸山）、アサガオ作り、 七夕飾り作り、ジャガイモ掘り	12 月	焼き芋パーティー、クリスマスイヴ会 正月飾り作り
7 月	七夕飾り付け、夏まつり準備	1 月	鋸南苑神社初詣、絵馬制作 節分飾り、梅の花作り
8 月	すいか割り、プチ夏祭り	2 月	節分豆まき、雛人形飾り付け、種まき、 おやつ作り
9 月	敬老の日のお祝い、貼り絵、大根の種 植え	3 月	桜作り

2. 施設管理

①消防訓練（2 回実施）

- ・6 月 28 日 自主避難訓練
- ・11 月 28 日 総合避難訓練

②職員配置

- ・センター長 1 名 ・相談員 1 名（兼務） ・看護師 1 名（パート） ・介護員 5 名（パート含む）

〔富士見苑〕（富津市）

■ 事業報告概要 ■

令和3年度4月時点で、定員18名のうち利用者は14名でした。その後、地域包括支援センター・ケアマネ事業所・市役所からの入居依頼により、最終的に利用者は16名まで回復しましたが、満床には至りませんでした。

利用者支援では、主治医と連携し新型コロナウイルス感染症対策に努め、安心できる日常生活が送れる様にしました。しかし、その一方で、レクリエーション活動では、感染状況を見て近隣ドライブ（車外に降りず）を2回実施しましたが、それ以外は施設内レクリエーションが中心となり、充実したレクリエーション活動の提供ができませんでした。

<グループホーム>

1. 実施状況

①サービス内容

- ・利用者が「安全」「安心」「穏やか」な生活が送れる様にする
- ・共同生活を通じて利用者の残存機能の維持、向上を図る
- ・家族との信頼関係の強化と維持に努める
- ・利用者が安心して「普通の暮らし」が送れる家庭的な生活環境を提供する
- ・医療及び行政との連携強化をする
- ・情報開示に努め、開かれた施設運営を行う
- ・地域密着型施設として地域福祉の向上に努める
- ・職員は「知識」「技術」「心」の向上を図り、利用者の生活を守り支援する

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	誕生会・カラオケ	10 月	誕生会・ハロウィン
5 月	風船バレー・体操レクリエーション	11 月	富津岬ドライブ
6 月	誕生会・ゲーム大会	12 月	誕生会・クリスマス会
7 月	誕生会・体操レクリエーション	1 月	誕生会・カラオケ・体操レクリエーション
8 月	スイカ割り・夏祭り	2 月	誕生会・ゲーム大会
9 月	誕生会・秋祭り	3 月	花見ドライブ

2. 施設管理状況

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	職員会議、人権について、身体拘束委員会	10 月	職員会議、身体拘束研修

5 月	職員会議、食中毒対策の手洗いのタイミングと洗い方	11 月	職員会議、身体拘束委員会
6 月	職員会議、熱中症	12 月	職員会議、高齢者の口腔ケア
7 月	職員会議、人権について 身体拘束委員会	1 月	職員会議、ボディメカニク 身体拘束委員会
8 月	職員会議、身体拘束研修	2 月	職員会議、身体拘束研修
9 月	職員会議、日和見感染 身体拘束委員会	3 月	職員会議、ユニットケアについて 身体拘束委員会

・推進会議

新型コロナウイルス感染対策の為、中止中。富津市役所に 2 ヶ月に 1 度、施設報告書を提出

・外部研修

グループホーム管理者研修（1 名）、認知症の人の思いを知る（1 名）いずれもリモート研修

②防災計画

- ・火災避難訓練（消火、通報、避難）年 2 回
- ・地震津波避難訓練年 1 回
- ・火災夜間想定避難訓練年 1 回

③職員配置

- ・管理者兼計画作成 1 名
- ・介護員兼計画作成 1 名
- ・介護職員 12 名（非常勤 2 名）
- ・事務員 1 名（非常勤）

④施設整備

- ・1 号棟、2 号棟浴室改修（地域介護・福祉空間設備等補助金利用）
- ・1 号棟、2 号照明器具交換
- ・浄化槽水中ポンプ交換
- ・枕木階段（富士見苑から希望の杜への通路）
- ・駐車場フェンス交換

〔天羽苑〕（富津市）

■ 事業報告概要 ■

今年度4月～7月までは満床の状況でしたが、入院や他の施設に移動する方がおり、利用者が7名の状況が続き満床には至りませんでした。 昨年に続きコロナ禍で外出する機会や面会に来て下さる方も制限した為か利用者の介護度も上がり、個別ケアが重視される状況となりました。

予定していた職員の外部研修も中止になり、オンライン研修や内部研修を充実させスキルアップに努めました。今後も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の研修や実施に努力していきます。

1. 実施状況

①サービス内容

- ・日常生活支援
- ・食事・入浴サービス
- ・利用者や家族の相談や苦情解決対応、援助業務
- ・介護計画の作成
- ・身体機能訓練、健康管理
- ・余暇支援、買い物支援、通院介助
- ・口腔ケアの実施
- ・地域運営推進会議（状況報告書）

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	桜花見会、誕生日会	10 月	ミニ運動会
5 月	お好み焼きパーティー	11 月	紅葉見学
6 月	紫陽花見学、デザートバイキング	12 月	クリスマス会
7 月	七夕会、弁当の日	1 月	初詣、誕生日会
8 月	そうめん流し、誕生日会	2 月	節分会、弁当の日
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り会、お花見ドライブ

2. 施設管理

①施設内職員研修、会議

月	内 容	月	内 容
4 月	ミスを防ぐ方法、職員会議	10 月	認知症について、職員会議
5 月	介護保険制度、職員会議 身体拘束防止の対策委員会	11 月	緊急時の対応、職員会議 身体拘束防止の対策委員会
6 月	褥瘡予防について、職員会議	12 月	感染症予防、職員会議

7 月	防災について、職員会議 身体拘束防止の対策委員会	1 月	個別支援（1）、職員会議 身体拘束防止の対策委員会
8 月	高齢者の疾病、職員会議	2 月	個別支援（2）、職員会議 介護技術（入浴介助）
9 月	事故防止について、職員会議 身体拘束防止の対策委員会	3 月	防災訓練、職員会議 身体拘束防止の対策委員会

②消防訓練

- ・ 水害・土砂災害に備えての避難訓練の実施（9 月 8 日）
- ・ 火災想定 of 避難訓練、夜間想定訓練の実施（3 月 25 日）

③職員配置

- ・ 管理者 1 名
- ・ 計画作成担当者 1 名（介護支援専門員・介護職員兼務）
- ・ 介護職員 6 名（常勤 2 名、非常勤 4 名）

④施設整備

- ・ 浴室の改修（地域介護・福祉空間整備補助金利用）
- ・ 業務エアコン 2 台購入

〔みらい保育園〕（千葉市）

■ 事業報告概要 ■

令和3年度は適正な人員配置のもと、遊びや生活の環境を整え、一人ひとりの思いをくみとった上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心がけた。

子どもたちの育ちを考え、職員一人ひとりがそれぞれの得意なことを活かした保育の質の向上を目指した。

感染症対策という制限のある状況の中で、日々の保育や園行事等、「子どもの育ちのためにすべきこと」「感染症対策のためにすべきこと」を見極め、子ども、保護者、地域、職員と共に育つ「共育」を実践することができた。

1. 実施状況

①保育事業

- A 通常保育事業（月曜日～土曜日 7時～20時実施）定員 120名（140名）
- B 一時保育事業・定期（8時～18時）定員 10名 ・不定期（8時～17時）定員 5名
- C 休日保育事業（日曜日 7時～18時）

②厨房部門

- A 食育活動（食事のマナー等）
- B 衛生管理の徹底（職員の健康管理・感染症対策）
- C アレルギー対応の徹底（アレルギー対応マニュアルを基に声掛けと事務所のチェックの徹底）

③看護部門

- A 日々の健康管理と健康指導
- B 「ほけんだより」の配布
- C 視力検査

④防災部門

毎月の防災訓練・職員への研修等

⑤年間行事 ※誕生会・防災訓練・身体測定は毎月実施

月	内 容	月	内 容
4 月	以上児懇談会(中止)	10 月	運動会、芋煮会 5歳児バス遠足、ハロウィン
5 月	端午の節句、内科検診 未満児給食試食懇談会(中止)、陶芸	11 月	小学校との交流(中止)、内科検診 見浜園灯籠祭
6 月	カレーパーティー(中止)、歯科検診 ロッセマリンダンス交流(中止) 5歳児遠足(中止)	12 月	造園花植え活動、クリスマス会

7 月	プール開き、見浜園七夕、夕涼み会 5 歳児お泊り保育	1 月	年頭視越(中止)、5 才児懇談会 未満児懇談会
8 月	すいか割り	2 月	節分・豆まき、卒園遠足（夢フィールド）、マラソン大会
9 月	お月見	3 月	ひな祭り、卒園式

2. 施設運営管理

①会議等（新型コロナウイルス感染症で開催できない会議もあった）

- ・職員会議、アレルギー会議 毎月 1 回
- ・リーダー会議、未満児・以上児会議、クラス会議、給食会議 随時

②研修(新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン研修のみ)

- ・施設内研修は、全体、クラス等にて随時

月	外部研修受講内容
6 月	・子どもたちの育ちを支えるために ・子どもの心を育てる ・保育所給食の衛生について ・保育園長の責務について ・給食施設 栄養、衛生管理研修会
7 月	・アレルギー研修会 ・子どもが育つ玄米和食の取り組み
9 月	・保育と連動した食育について ・食育推進認定講座 ・保育と連動した小児保健について ・健康づくり研修会 ・保育者の質の向上につながる主任保育士の役割
10 月	・日々の保育を深めるために（以上児保育） ・子どもの心に寄り添うとは ・日々の保育をふかめるために（未満児保育）
11 月	・社会的養護で育つ子どもと共に育む保育・幼児教育 ・地域歯科保健連絡会 ・保育指針改定について ・小学校接続へ向けた幼児教育の充実とは
12 月	・保育界の動向とこれからの保育園のあり方 ・保育所保育指針改定をふまえて～保育の言語化をする～
1 月	・保育と連動した食育の推進を図る ・改訂保育所保育指針「解説書」研修会 ・保育者の集い 思いやりのある関係づくり

2 月	・食の安全に関する講演・意見交換会 ・エピソード記述を学ぶ ・保育所保育園 トップセミナー
-----	---

① 職員配置

園長 1 名 副園長 1 名 主任保育士 1 名 保育士 31 名（パート職員を含む）
 子育て支援員 3 名（パート職員） 保育補助 2 名（パート職員） 看護師 1 名
 栄養士 3 名 調理員 2 名（パート職員を含む） 用務員 1 名

■ 事業報告概要 ■

令和3年中、介護職員3名が新型コロナウイルスに感染し、初回は濃厚接触者3名が認定された。いずれも感染経路は家庭内であり、幸い施設内に伝播することなく終息したが、期間中は空床調整も自粛せざるを得ず、入居者の入院や退所が相次いだことも含み、今年度の入居稼働率は97%と昨年を下回る結果となった。長引く緊張感や自粛による閉塞感から職員の疲労もピークに達する感があったが、コロナ時代の先を見据えた支援の在り方や職場環境の刷新など建設的な話題を積極的に発信し続け、加えて今年度より開始したLIFE関連加算導入作業に、初期段階から担当部門の職員が関わることにより、全職参加型の運営の在り方を示し、個々のモチベーション維持に努めた。又、感染しないさせない予防行動を旨として、施設の年中行事の多くを再開した。花見外出支援や外注食を楽しむ生き生きとした入居者の表情に、職員のストレスも払拭された思いである。尚、同時期に嘱託医より急遽撤退の申し出を受け、俄かに慌ただしい展開となったが、早期に管内の医師と契約を結ぶに至り、医療体制を堅持している。人員配置については、新たに2名の介護職員が入職した。指導にあたり、直面した課題に戸惑いながらも共に解決し連帯感を深めようと努力する姿があった。感染症のみならず自然災害による建物被害や老朽化による修繕対策等、課題は山積したが、様々な困難に果敢に挑み、温かく互いを思いやる優しさを持つ人であればこそ、眼前の苦境を乗り越えることが出来ると確信した一年であった。

<特別養護老人ホーム>

1. 実施状況

①サービス内容

○地域密着型施設サービス計画の策定

自立支援を念頭に定期的な評価と見直しを行い、個々の状況に即した支援が行えるよう努めた。

○入居者や家族からの苦情や生活上の相談援助

入居者本人からの要望意見に丁寧に向き合い、職員の言動や支援の在り方を振り返りサービス改善に努めた。

○食事

栄養評価により個々の健康増進と体調管理を行った。又季節毎の行事に因み期待感のある食事提供に努めた。

○入浴

個々の状況に応じ週3回の入浴支援を行った。また、ゆず湯や菖蒲湯など生活感のあるお風呂の支援を行った。

○排泄

個々の尊厳を保持し、トイレでの排泄継続を目標にオムツからの脱却と薬に頼らない排便習慣をつけるための取り組みを行った。

○機能訓練

専従の機能訓練指導員によるマッサージや可動域訓練を実施。施術中の会話対応などでコミュニケーション不足の解消に繋げた。一部ボランティア受け入れを再開、こじゅりん体操等地域ぐるみの取り組みに協力した。

○健康管理

感染症発生時の事業計画を策定し業務に活かした。看取り支援について家族の意向を受け嘱託医や協力病院との連携を図り対応した。

○地域福祉活動への参画

高齢者雇用推進、介護予防事業への協力。虐待等緊急的受入れ福祉避難所開設協力をすすめた。障害者雇用促進のため職場体験の受入を継続。

○運営推進会議の開催

感染症の発生状況を鑑み1回のみ参集にて開催した他は、議事録報告をもって対応した。

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	桜花見（苑庭）、花笠パレード ハーブ湯	10 月	運動会、ハロウィンパレード
5 月	母の日行事、菖蒲湯	11 月	文化祭、こじゅりん体操 入居者百寿お祝い
6 月	父の日行事	12 月	クリスマス会、こじゅりん体操 カラオケ大会、ゆず湯
7 月	七夕茶話会、ライム風呂	1 月	施設内初詣、獅子舞い
8 月	納涼祭、おみこしパレード	2 月	節分豆まき会、新春かくし芸大会
9 月	吉本オール巨人リモートライブ	3 月	ひな祭り外注食、お花見ドライブ

各月ごとの誕生会をユニット毎に開催

2. 施設運営管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	社内研修 事業計画と介護保険について 職員会議 ユニット会議	10 月	社内研修 権利擁護について 職員会議 ユニット会議
5 月	社内研修 疥癬について 職員会議 ユニット会議	11 月	社内研修 身体拘束及び虐待防止 職員会議 ユニット会議 リーダー会議
6 月	社内研修 口腔ケアについて 職員会議 ユニット会議 運営推進会議（中止）	12 月	社内研修 感染予防 集団発生時の対応 外部研修報告会（防災研修） 職員会議 ユニット会議 運営推進会議
7 月	社内研修 低栄養について 職員会議 ユニット会議	1 月	社内研修 接遇について 職員会議 ユニット会議 リーダー会議
8 月	社内研修 熱中症について 職員会議 ユニット会議	2 月	社内研修 事故防止について 職員会議 ユニット会議
9 月	社内研修 転倒予防と発生時の対応 職員会議 ユニット会議 リーダー会議 運営推進会議 書面報告	3 月	社内研修 感染予防について PPE 訓練 職員会議 ユニット会議 リーダー会議 運営推進会議 書面報告

②外部研修

月	研修受講内容	
4 月	感染症リーダー研修会（オンデマンド）	参加 3 名
6 月～8 月	喀痰吸引研（オンライン） 自施設開催	参加 3 名
8 月	給食施設管理研修（オンライン）	参加 4 名
10 月	この冬に向けた新型コロナウイルス感染症対策（オンライン）	参加 1 名
	介護事業所向け事業継続計画策定支援セミナー（オンライン）	参加 1 名
12 月	福祉施設における防災対策講座（基礎編）	参加 1 名
	介護連携推進事業はじめてみようBCP 会場：東庄町保健福祉センター	参加 1 名
2 月	介護認定調査員現任研修（オンデマンド）	参加 2 名
3 月	口腔機能管理研修（オンライン）千葉県歯科医師会	参加 1 名
	在宅医療の現状 栄養管理（オンライン）	参加 1 名

③防災計画

- ・4 月 23 日 避難通報訓練
- ・10 月 30 日 避難通報消火訓練 救急車両を要請し実践的な訓練
- ・8 月 15 日 風水害対策訓練 警報発令に伴い避難準備等の行動を確認
- ・12 月 3 日 地震対策訓練 地域ボランティア参加 誘導と見守りの協力を依頼
- ・3 月 11 日 シェイクアウト訓練 入居者・職員が参加
- ・3 月 28 日 大地震を想定した避難訓練
救急車両を要請しネクスト東庄職員と合同での消火訓練を実施

④職員配置

施設長 1 名（介護支援専門員との兼務） 生活相談員 1 名（事務員との兼務）
 機能訓練指導員 1 名（非常勤） 栄養士 1 名（非常勤） 看護職員 2 名（常勤 1 名 非常勤 1 名）
 介護職員 17 名（常勤 13 名 非常勤 4 名） 調理員 4 名（常勤 2 名 非常勤 2 名）
 用務員 3 名（非常勤）

3. その他

職員が家族介護や育児と仕事の両立を図り継続的に働き続けられる職場環境の構築に取り組んだ。本年 3 月より 1 年にわたる男性職員の育児休暇取得の要望に対応し推進している。長期休暇に向けた人員配置については雇用を促進し職員確保に努めた。1 年後の職場復帰に伴うフォローを含めた職員の負担軽減対策も課題として残る。コロナ禍での様々な対策は、人心に負の影響を与え続けたが、職員の慶事を共に喜びあう場面は施設の日常にも潤いをもたらすニュースとなった。

他市町村からの入居申し込みに対し、ご家族及び本人の状況を勘案し法人内調整を図り、広域特養利用をすすめる、家族の切実な介護問題に地域を超えて向き合った。相談に対し様々な選択肢を示し、利用可能なサービス提供体制を提案したが高齢社会において今後もありうる事案とし包括的に受け止める必要性を感じている。

<収益事業 賃貸>

1. 実施状況

リハビリデイサービスネクスト東庄への建物質貸を継続している。コロナ禍にあり施設間交流の機会は減少したが、避難訓練など短時間参加により合同で実施した。昨年度より検討中であった老朽化により修繕が必要となっていた浴室床の張替え工事を行った。

〔広尾苑〕（市川市）

■ 事業報告概要 ■

<特別養護老人ホーム>

令和3年度は、職員に新型コロナウイルス感染症の陽性者が1人出たが、蔓延する事なく終える事が出来た。その為、例年通りの好調な収益で終える事が出来た。

加算に関しては、4月より科学的介護推進体制加算Ⅱ、口腔衛生管理加算Ⅱ、排泄支援加算Ⅰを新規で取得。8月からは負担限度額4段階の方の食費に関して、市場調査を行った他、厨房職員の人件費、食材費も合わせて総合的に考慮をし、1食を560円へ値上げをした。

令和4年度もコロナ禍ではあるが、出来る事を考えて利用者のQOLの向上を図る為の施策を検討していきたい。

<ショートステイ>

令和3年度も前年度と同様に、入所者の制限をかけロングショートの利用者だけの営業とした為、コロナ禍以前に比べると減収となった。加算に関しては、認知症専門ケア加算Ⅰを新規に取得した。

来年度も介護事故の防止の為に必要な体制を整備し、安心と安全が提供できるよう各種委員会の整備及び職員の資質の向上を引き続き目指したい。

<特別養護老人ホーム、ショートステイ共通>

1. 実施状況

①年間行事

月	内 容	月	内 容
4月	お花見カフェ@広尾苑	10月	バラ園散策 ギター演奏会（職員バンド） ケーキパーティ（かぼちゃ）
5月	母の日写真館 お茶会イベント（和風） ギター演奏会	11月	紅葉狩り 100歳誕生日会（桜ケーキパーティ）
6月	父の日写真館	12月	クリスマス会（クリスマスブッフェ） プレゼント交換会 クリスマスコンサート（職員バンド）
7月	七夕コンサート（職員バンド） 七夕カフェ	1月	鏡開き（お汁粉風デザート）
8月	ピアノ演奏会（職員） ケーキパーティ（桃とブルーベリー）	2月	節分豆まき 節分巻きずしメニュー 苺とブルーベリーのケーキパーティ
9月	カラオケ大会（職員も参加） 敬老会	3月	ケーキパーティ（チョコレート）

2. 施設管理

①職員研修

・施設内研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	法人の理念と方針 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	10 月	事故防止委員会研修 「事故防止委員会勉強会の概要について」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会
5 月	身体拘束・虐待防止委員会 「aams トラブルシューティング、アラート時の対応・対策例」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	11 月	感染対策委員会研修 「ポジショニングの基本」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会
6 月	事故防止委員会研修 「介護におけるヒヤリハットの原因とは？」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	12 月	褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会
7 月	感染対策委員会研修 「夏こそ気を付けたい食中毒」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	1 月	身体拘束・虐待防止委員会研修 「身体拘束・高齢者虐待の定義と発声メカニズムについて」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会
8 月	褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	2 月	事故防止委員会研修 「誤嚥事故を防ぐポイント」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会
9 月	身体拘束・虐待防止委員会研修 「各種センサー使用表についての説明」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会	3 月	感染症対策委員会研修 「災害時の避難所生活における感染症対策」 褥瘡対策委員会 事故ヒヤリハット報告会

・施設外研修

月	内 容
5 月	感染症リーダー研修会
9 月	床ずれ対策セミナー、明日から実践ポジショニング
10 月	LIFE の活用について（目的や重要性）
11 月	令和 3 年度市川市高齢者虐待防止研修
12 月	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
3 月	令和 3 年度「栄養（給食）職員研修」
3 月	紙おむつの効果的な使用方法

②防災訓練

- 8 月 15 日 日中の火災を想定。火災発生場所は 1 階の厨房、避難階段まで利用者を避難誘導。
- 10 月 17 日 夜間帯の火災を想定した訓練。消防署員の指導の下訓練用消火器を用いた消火訓練実施。
- 3 月 13 日 日中の火災を想定。火災発生場所は 1 階の厨房、避難階段まで利用者を避難誘導。

③職員配置

施設長 1 名 副施設長 1 名 介護支援専門員兼相談員 1 名 看護職員 4 名 事務員 1 名
 介護員 23 名 栄養士 1 名 調理員 6 名 用務員 2 名 合計 40 名

〔広尾みらい保育園〕（市川市）

■ 事業報告概要 ■

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、前年度のように市からの要請で休園になることはなかったものの、園内で園児・職員の感染者が出たため市と相談し開所時間を短くした期間があった。開所後も日常の保育や行事等、通常通りに行うことが出来ない1年となり、中止にせざるをえない行事があったり、実施した行事も5歳児のみの参加となったりしたが、各年齢の発達をふまえた上で子ども達一人ひとりの育ちを考え、丁寧に関わりながら職員一人ひとりが保育を行う事ができた。また、それぞれが担当する年齢や行事にあった研修（施設内・外）も中止になることが多く、途中からZoomでの研修もあったが、日時的・保育士数的に厳しくほとんど参加させることができなかった為、今年度は個々が自主的に資料等を利用し保育士の質の向上を目指した。

一時保育事業は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年間を通して利用者はいなかった。

子育て支援センター事業では可能な限りは開所したが、部屋が狭い為に利用人数に制限があり、市が望む利用人数には達することが難しく、市と協議をした結果9月末をもって閉所とした。

1. 実施状況

①通常保育 月曜日～金曜日 7:00～20:00 土曜日 7:00～18:00
基本保育時間 8:00～17:00
※延長保育時間を含む。

○一時保育 月曜日～金曜日 9:00～17:00

- 一時的に保育が困難（通院・通学等）な方
- 育児中のリフレッシュを必要とされる方
- 認可保育園の入園基準（概ね月64時間以上）に満たない就労の方等の理由にて児童を受け入れ

○子育て支援センター「結」月曜日～金曜日 9:30～12:30 13:30～16:00

- 「子育て相談」に対するアドバイス
- 親子で自由に遊べる（過ごせる）場の提供
- 母親（父親）同士が自由に話し合える場の提供
- 毎月行事（試食会・親子クッキング・製作等）の企画をし、参加利用して頂いた

②年間行事 ※防災訓練は、毎月1回実施。

月	内 容	月	内 容
4 月	はじめましての会	10 月	芋掘り遠足（5歳児） 運動会（園ホールにて5歳児のみ参加） ハロウィン（特養との交流無し・園児のみ）
5 月	子どもの日のお祝い	11 月	内科健診（全園児）

6 月	内科健診（全園児）、歯科検診（全園児）	12 月	クリスマス会（5 歳児）
7 月	夕涼み会（縁日ごっこに変更）	1 月	もちつき会
8 月		2 月	節分・豆まき会（クラス毎にホールで）
9 月		3 月	ひなまつり、卒園式（5 歳児（卒園児）のみ参加）、お別れ会

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	内部研修〔保育計画・各作業（マニュアル）・アレルギー等確認〕書面での対応	10 月	定例会議 内部研修（感染症について）書面での対応
5 月	定例会議	11 月	定例会議
6 月	定例会議	12 月	定例会議
7 月	定例会議	1 月	定例会議
8 月	定例会議	2 月	定例会議
9 月	定例会議 内部研修（総合防災対策強化講習）書面での対応	3 月	定例会議（1 年間の総括）

※他毎月（リーダー会議・給食会議・以上児会議・未満児会議・クラス会議等）

不定期（行事ミーティング・係担当ミーティング等）

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、会議は最低限の議題のみとし時間短縮（午睡時間内）内部研修もなるべく書面での形をとった。

②職員研修・講習

月	内 容
6 月	保育プラザ研修（2 歳児の発達） 千葉県民間保育振興会関東ブロック研修会（第 26 回保育者の集い）
7 月	千葉県民間保育振興会関東ブロック研修会（保育者の集い）
8 月	千葉県民間保育振興会関東ブロック研修会（保育者の集い）
9 月	学研講習会（毎日の保育に生かそう 学ぶ子どもの発達と食育）
10 月	千葉県民間保育振興会関東ブロック研修会（保育者の集い）

③職員構成

園長 1 名 主任保育士 1 名 保育士 12 名（パートを含む）

一時保育 2 名（保育士 1 名・子育て支援員 1 名）

子育て支援センター 2 名（保育士 2 名） 栄養士 2 名 調理員 3 名（調理師 2 名・調理員 1 名）

事務員 1 名 用務員 1 名

〔木更津みらい学舎〕（木更津市）

■ 事業報告概要 ■

ここ数年増加していた新一年生の入所者数は少なかったものの、全体的な利用は一定を保っていた。大きな事故やケガもなく、新型コロナウイルス感染症の対策を練りながら、安全安心な施設づくりを心掛けた。児童、保護者、職員の協力のもと新型コロナウイルス感染症による閉所等なく運営できた。

令和 4 年度も対策をとりながら、児童たちが安全に楽しく過ごせる施設づくりをしていきたい。

1. 実施状況

①事業内容

利用定員 90 名

利用料金 基本料金 13,000 円 保険・おやつ代 2,000 円

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	新入生歓迎会・お誕生日会	10 月	ハロウィンパーティー・お誕生日会
5 月	こどもの日の祝い・お誕生日会	11 月	お誕生日会
6 月	お誕生日会	12 月	クリスマス会・お誕生日会
7 月	プール開き・お誕生日会	1 月	お誕生日会
8 月	夏祭り 2 日間	2 月	バレンタインデー・お誕生日会
9 月	敬老の日のお祝い・お誕生日会	3 月	ひなまつり・お誕生日会

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	職員会議	10 月	放課後児童支援員資格研修
5 月	市内学童会議（中止）	11 月	放課後児童支援員資格研修
6 月	市内学童保育所総会（見合わせ）	12 月	職員会議
7 月	職員会議（夏祭り）	1 月	市内学童会議（中止）
8 月	職員会議（感染症対策）	2 月	職員会議（新入生について）
9 月	市内学童会議（中止）	3 月	職員会議（新年度準備）

②職員配置

運営責任者 常勤 1 名

非常勤放課後児童支援員 3 名

補助指導員 4 名

3. その他

令和4年度は、より安心安全な運営のためにも有資格者の職員補充と、補助指導員の補充に力を入れたい。

■ 事業報告概要 ■

＜特別養護老人ホーム＞

令和3年度は、11月以降入居者の入院や退所等で空室が続きましたが、年稼働率は97%でした。また、同一敷地内にあります学童保育施設とは、例年多くの機会・行事を通じて交流を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により交流会は出来ませんでした。

課題といたしましては、職員の入れ替えが多かったため人員確保を図るとともに、介護に係わる職員の介護能力向上に向け、積極的に研修へ参加するとともに職場内研修を充実させ、職員のスキルアップを図ってまいりました。

＜グループホーム＞

グループホームは、入院や退所等入替により年稼働率は95%となりました。常に利用者や家族等と十分に話し合うことで、利用者にとって安全で健やかな生活の場を確保し、利用者の出来ることの発見を職員と共に考え自信に繋がるよう努めてまいりました。

＜デイサービスセンター＞

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大や職員のコロナ感染によりデイサービスの休業を行うなどの影響もあり、利用者の確保が困難な状態になりました。利用者確保のため地域包括支援センターや併設している居宅支援事業者等にアンケート調査を行い、地域に積極的に働きかけ稼働率の向上と、質の高い魅力のあるサービスの提供に心がけてまいりました。

＜特別養護老人ホーム＞

1. 実施状況

①サービス内容

- ・入居利用者の介護計画作成
- ・相談・援助業務
- ・食事サービス
- ・入浴サービス
- ・排泄介助、整容その他日常生活の支援
- ・機能訓練
- ・健康管理
- ・余暇支援、通院介助、買い物介助その他
- ・運営推進会議をおおむね3か月に1回実施
- ・利用者に対して計画的にアクティビティを実施
- ・口腔ケアの実施

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	お花見見学	10 月	ハロウィン

5 月	端午の節句	11 月	芋掘り参加・焼き芋試食
6 月	運営推進会議	12 月	クリスマス会 運営推進会議
7 月	七夕会	1 月	正月行事
8 月	納涼祭	2 月	節分行事
9 月	敬老会 運営推進会議	3 月	ひな祭り会 運営推進会議

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	認知症の理解・対応策	10 月	感染症対策（基礎知識・高齢者に起こりやすい感染症）
5 月	急変時の対応・AED の使い方	11 月	ボディメカニクスの基本原理
6 月	介護記録の必要性・書き方	12 月	食事の介護（摂食・嚥下・口腔ケア等）
7 月	高齢者に多い病気・骨折（高齢者の身体のおくみ・事故事例等）	1 月	体位変換・褥瘡予防（目的・援助方法等）
8 月	衣服着脱の目的・介助方法（前開上着・かぶり上着・ズボンの交換等）	2 月	身体拘束・虐待防止
9 月	拘縮者・片麻痺者・全介助者の介助方法（食事・更衣・口腔ケア・移乗等）	3 月	利用者同士のコミュニケーション 職員間のコミュニケーション

②防災訓計画

・年 3 回の防災訓練（消火、通報、避難）

7 月 25 日 火災、消火、避難訓練

11 月 21 日 防災設備の取扱い、火災を想定した訓練の実施

3 月 27 日 夜間を想定した訓練の実施

③職員配置

施設長 1 名 副施設長兼生活相談員 1 名 計画作成担当者 1 名 事務員 2 名（非常勤含む）
 介護員 18 名（非常勤含む） 看護師 3 名（非常勤含む） 機能訓練指導員 1 名（兼務）
 管理栄養士（認定こども園連携）1 名 調理員 4 名（非常勤含む） 用務員 1 名（非常勤）

<グループホーム>

1. 実施状況

①サービス内容

- ・認知症高齢者グループホーム介護計画の作成
- ・相談・援助業務
- ・食事サービス

- ・入浴サービス
- ・排泄介助、整容その他日常生活の支援
- ・機能訓練
- ・健康管理
- ・余暇支援、通院介助、買い物介助その他
- ・運営推進会議をおおむね3か月に1回実施
- ・利用者に対して計画的にアクティビティを実施
- ・口腔ケアの実施

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	お花見見学	10 月	ハロウィン
5 月	端午の節句・鯉のぼり見学	11 月	紅葉見学
6 月	お誕生会・あじさい見学・運営推進会議	12 月	クリスマス会・お誕生会・運営推進会議
7 月	七夕行事	1 月	正月行事・初詣
8 月	納涼祭	2 月	節分行事
9 月	敬老会・運営推進会議	3 月	ひな祭り会・河津桜見学・運営推進会議

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	認知症の理解・対応策	10 月	感染症対策（基礎知識・高齢者に起こりやすい感染症）
5 月	急変時の対応・AED の使い方	11 月	ボディメカニクスの基本原理
6 月	介護記録の必要性・書き方	12 月	食事の介護（摂食・嚥下・口腔ケア等）
7 月	高齢者に多い病気・骨折（高齢者の身体のおくみ・事象事例等）	1 月	体位変換・褥瘡予防（目的・援助方法等）
8 月	衣服着脱の目的・介助方法（前開上着・かぶり上着・ズボンの交換等）	2 月	身体拘束・虐待防止
9 月	拘縮者・片麻痺者・全介助者の介助方法（食事・更衣・口腔ケア・移乗等）	3 月	利用者同士のコミュニケーション 職員間のコミュニケーション

②防災訓計画

- ・年3回の防災訓練（消火、通報、避難）
- 7月25日 火災、消火、避難訓練

11月21日 防災設備の取扱い、火災を想定した訓練の実施

3月27日 夜間を想定した訓練の実施

② 職員配置

・管理者 1名（兼務） ・計画作成担当者 1名（兼務） ・介護職員 6名

<デイサービスセンター>

1. 実施状況

①サービス内容

- ・居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としてサービス提供
- ・入浴サービス、健康チェック、給食サービス、レクリエーション活動、機能訓練指導、送迎サービス
- ・他の介護保険サービス事業者との連携
- ・かかりつけ医等、医療事業者との連携
- ・通所介護計画の作成

②年間行事

月	内 容	月	内 容
4月	お花見見学	10月	ハロウィン
5月	端午の節句・鯉のぼり見学	11月	紅葉見学
6月	お誕生日会・あじさい見学	12月	クリスマス会・お誕生日会
7月	七夕会	1月	正月行事・初詣
8月	納涼祭	2月	節分行事
9月	敬老会・運営推進会議	3月	ひな祭り会・河津桜見学・運営推進会議

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4月	認知症の理解・対応策	10月	感染症対策（基礎知識・高齢者に起こりやすい感染症）
5月	急変時の対応・AEDの使い方	11月	ボディメカニクスの基本原理
6月	介護記録の必要性・書き方	12月	食事の介護（摂食・嚥下・口腔ケア等）
7月	高齢者に多い病気・骨折（高齢者の身体のおくみ・事故事例等）	1月	体位変換・褥瘡予防（目的・援助方法等）
8月	衣服着脱の目的・介助方法（前開上着・かぶり上着・ズボンの交換等）	2月	身体拘束・虐待防止

9 月	拘縮者・片麻痺者・全介助者の介助方法（食事・更衣・口腔ケア・移乗等）	3 月	利用者同士のコミュニケーション 職員間のコミュニケーション
-----	------------------------------------	-----	----------------------------------

②防災訓計画

- ・年 3 回の防災訓練（消火、通報、避難）

7 月 25 日 火災、消火、避難訓練

11 月 21 日 防災設備の取扱い、火災を想定した訓練の実施

3 月 27 日 夜間を想定した訓練の実施

③職員配置

- ・管理者 1 名（兼務） ・生活相談員 1 名 ・介護職員 1 名（非常勤）
- ・看護師 1 名（兼務）

〔千葉みらい響の杜学園〕（千葉市）

■ 事業報告概要 ■

開設して8年、一昨年、国が掲げる施設の多機能化を具現化し4月に児童家庭支援センター子里を開設し、10月に一時保護専用施設蒼空ホームを開設した。その2つの事業が昨年度で軌道に乗り、安定した運営ができた。

令和3年度は更に富津市に自立援助ホーム希望の杜を開設し、自立生活援助事業だけでなく、児童相談所の依頼を受け一時保護、富津市の子育て短期支援事業も行った。

これにより、児童養護施設千葉みらい響の杜学園をプラットフォーム（センター施設）とし、サテライト的に社会的養護の関連施設の連携を強化して、あらゆる角度から子どもの実態、特性等に応じた支援をすることができた。そして社会の一員として、誰一人見捨てることなく、働いて健全に社会生活が送れる人を育成するという方向性が明確になった。

コロナ渦ではあったが、感染対策を徹底することで行事等、子どもたちの楽しみにしていることを工夫しながら行ってきた。児童の感染者が出たが個別対応を取り、職員でカバーし合いながら凌いだ。

1. 実施状況

(1) 入所児の受け入れ

- ・入所理由、家庭状況等の理解
- ・生活の仕方、決まりを教える
- ・施設での生活の意味について年齢に応じて理解させる
- ・子ども同士で集団にとけ込めるよう配慮する
- ・指導員、保育士との関係づけ

(2) 退所児の準備支援と家庭調査

- ・家庭、親の調整（面会、文通、諸機関を通じて）
- ・自分の将来について、子どもなりに理解させる
- ・家庭復帰、進路指導

(3) 子どもの発達に有効な生活環境を作る

- ・環境整備
- ・楽しい雰囲気
- ・指導員、保育士、子ども同士の和やかな人間関係

(4) 問題を持つ子の支援

- ・問題の捉え方、原因の理解
- ・具体的指導の計画、実施
- ・個別化と集団

(5) 対外諸機関及び社会資源の活用と相互協力

- ・児童相談所、福祉事務所、市、町、学校、地域、他諸機関との連絡や協力
- ・社会資源の活用
- ・ボランティア受け入れ、活用

- ・PTA、授業参観、子ども会等への参加
- ・子ども同士の交流（遊び、行事、招待等）

①年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	入学・進級、進学を祝う会、 着任式、お誕生日会	10 月	秋の寮外出、ハロウィン、川戸地区 スポーツ祭、お誕生日会
5 月	春の全体外出、お誕生日会	11 月	芋掘り、七五三、響魂祭（学園祭） お誕生日会
6 月	児童健康診断、お誕生日会	12 月	クリスマス会、大掃除、餅つき お誕生日会
7 月	七夕の会、お誕生日会	1 月	初詣、お誕生日会
8 月	千児協・響の杜球技大会、キャンプ、 夏祭り、プール、小・中学校連絡会議 お誕生日会	2 月	節分、千児協マラソン大会 健康診断、お誕生日会
9 月	お月見、お誕生日会	3 月	ひな祭り、響の杜駅伝大会 巣立ちの会、お誕生日会

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	職員会議 理念・基本方針、事業計画について	10 月	職員会議 発達障害について
5 月	職員会議 安全・安心対策について	11 月	職員会議 グループワークトレーニング
6 月	職員会議 被措置児童虐待対応について	12 月	職員会議 里親制度について
7 月	職員会議 自立支援プログラムについて	1 月	職員会議 公文式学習の成果について
8 月	職員会議 他施設との交換研修	2 月	職員会議 集団遊びについて
9 月	職員会議 児童相談所の業務について	3 月	職員会議 今年度の総括

②防災計画

- ・毎月、避難訓練を行う。
- ・年1回、消防署員の指導のもと消火訓練を行う。

③職員配置

- ・施設長1名 ・副園長1名 ・事務員1名 ・主任児童指導員1名
- ・家庭支援専門相談員2名 ・里親支援専門相談員1名 ・個別対応職員1名
- ・心理療法士1名 ・職業指導員1名 ・調理員4名 ・嘱託医1名 ・特別指導員1名
- ・児童指導員 ・保育士25名

〔認定こども園木更津みらい〕（木更津市）

■ 事業報告概要 ■

コロナ禍の中で、9月に1日休園（職員1名・実習生1名のコロナ陽性による）をしたが、その日以外休園することなく、通常の保育・教育を進められた。園と保護者が共に協力し、子ども一人ひとりの育ちや毎日の健康状況も把握し、一緒に育てていく『共育』の考え方を更に推進することができた。

園内の補修工事や東側園庭、駐車場の整備等計画通りに行うことができた。毎月の点検で、修理箇所や不足している物品を確認するルーティンができ、大きな事故につながらないような準備ができている。

保育教諭の質の向上の為、キャリアアップ研修、新人研修、地区研修会等に参加の予定が、新型コロナウイルス感染症の状況でWeb研修になったが、参加できる研修には積極的に参加した。

子どもと保育者とが主体的に共感的に保育を進めていくように、保育のP（計画）D（実践）C（振り返り）A（子ども理解）を基本として取り組んだが、振り返りについては、なかなかうまくできていなかったのも、次年度の目標とする。隣接する請西苑やみらい学舎とはコロナ禍の影響で一緒に行事をすることはなかったが、敬老の日等のプレゼント作りなど、日々の保育でお互い思いやり、尊重しながら過ごすことができた。

園東側駐車場の整備、室内扉の改修工事等、毎月の安全点検を基に職員全員で確認しながら、危険箇所をなくし、保育や園生活が過ごしやすく困らないように整備ができた。令和4年度も引き続き、改善できるところは早急に改善できるようにしていきたい。

1. 実施状況

サービス内容

①通常保育事業（日曜日・祝日ならびに年末年始休園を除く期間）

支給認定区分		実施年齢	保育の必要性	利用時間	延長保育等
1号認定	教育標準時間	3～5歳	なし	9:00～13:00	朝) 7:00～9:00
					夕) 13:00～19:00
2号認定	保育短時間			9:00～17:00	朝) 7:00～9:00
	保育標準時間				夕) 17:00～19:00
3号認定		0～2歳	あり	7:00～18:00	夕) 18:00～19:00
	保育短時間			9:00～17:00	朝) 7:00～9:00
					夕) 17:00～19:00
	保育標準時間			7:00～18:00	夕) 18:00～19:00

②地域子育て事業

- ・園庭開放 第3水曜日 10:00～11:30
- ・教育相談 毎週水曜日 13:30～15:30 （要予約:毎回3組まで）

③厨房部門

- ・完全給食の提供 月曜日～土曜日（昼食・午前午後のおやつ提供）
- ・行事食の提供 季節、園内行事に合わせて
- ・食育の実践 栽培から調理までのクッキング保育の実践、0歳児から生涯にわたって豊かな食生活が送れるよう指導実践
- ・アレルギー児等対応管理の徹底 アレルギー児会議にて全職員に状況の周知徹底
- ・衛生管理の徹底 清掃・点検の遂行 厨房職員以外の厨房内立ち入り禁止

④衛生部門

- ・職員 定期健康診断の実施・インフルエンザ予防接種実施・検便
衛生についての研修実施・心肺蘇生法の実施
- ・児童 内科健診・歯科検診の実施・身体測定の実施
手洗い・うがい・歯磨き・鼻かみ・休息等の健康管理指導実施
保護者へ保健だよりを通じて、周知連絡・状況報告

⑤防災部門

- ・防火管理組織の徹底
- ・安全保育の徹底 地震・火事・不審者対応避難訓練（毎月1回）実施
- ・防災備品等の管理 防災用品・非常食の点検管理実施 避難経路の確認整備実施
- ・保護者対応 メールでの非常時情報発信、園児引渡しカード、引き渡し訓練の実施

⑥年間行事

※毎月実施：お誕生会・避難訓練・身体測定

月	内 容	月	内 容
4 月	歓迎の集い（中止）	10 月	ハロウィン（町のパレード中止）、内科・歯科検診、市巡回相談、3歳児4歳児遠足
5 月	こどもの日集会 内科健診・歯磨き指導	11 月	芋掘り、七五三集会、焼き芋大会 入園受付
6 月	個人面談 市巡回相談・年長組言語調査	12 月	クリスマス会、餅つき大会 生活発表会
7 月	夏祭り（保護者参加なし） プール開き	1 月	お正月の会 ・おやつ試食会・懇談会 個人面談
8 月	すいかわり、お泊り保育（中止） 年長児特別保育	2 月	豆まき、市巡回相談 入園説明会、5歳児交通安全教室
9 月	敬老の日集会（請西苑との交流プレゼントのみ）、運動会（保護者参加なし）	3 月	ひな祭り集会・進級を喜ぶ会・卒園式

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

職員会議、給食、アレルギー児会議 毎月1回

リーダー会議、未満・以上児会議、クラス会議、給食会議 随時必要に応じて

②研修等

月	内 容	月	内 容
4 月	○君津支会総会（中止） ●児童虐待対策の緊急対策研修（Zoom） ●リーダー会議①② ●巡回指導考察会議	10 月	○千葉県教育委員会初任者研修⑨ ○君津支会給食研修会 ●リーダー会議⑦ ●園外保育研修
5 月	○木更津市保育協議会総会・全体研修会（中止） ○千葉県教育委員会初任者研修①② ○管内保育所・幼稚園栄養業務連絡会 ●園内保育研修・栽培計画食育研修	11 月	○君津支会主任保育士研修会 ○木更津市保育協議会調理実習 ○キャリアアップ研修 ●リーダー会議⑧
6 月	○木更津市保育協議会保育内容研修 ●肺蘇生法研修会①② ○君津支会研修会●リーダー会議③ ○給食施設管理者従事研修会 ○キャリアアップ研修	12 月	●千葉県保育園振興大会・研修会（Zoom） ●リーダー会議⑨ ●子どもの主体的活動をどう進めていくかを考える
7 月	○千葉県教育委員会初任者研修④（Zoom） ○キャリアアップ研修 ●リーダー会議④	1 月	○千葉県教育委員会初任者研修⑩（中止） ○木更津市会施設長研修会 ●リーダー会議⑩
8 月	●リーダー会議⑤ ○キャリアアップ研修	2 月	○キャリアアップ研修 ●リーダー会議⑪
9 月	●リーダー会議⑥ ○木更津市保育協議会実技研修 ○キャリアアップ研修	3 月	●1年の反省会と次年度スローガン決定 ●各種研修を終えての報告と反省 ●リーダー会議⑫

○外部研修 ●園内研修

③職員配置

- ・園長 1 名 ・主幹保育教諭 1 名 ・保育教諭 17 名（パート職員を含む）
- ・保育補助 1 名 ・栄養士 2 名 ・調理師 1 名 ・調理補助 2 名 ・事務保育職員 1 名 ・用務員 1 名
- ・園医師 1 名 ・園歯科医師 1 名 ・園薬剤師 1 名 ・特別教育講師 3 名

■ 事業報告概要 ■

今年度、ホームから一人暮らしを始めた利用者の中には二等航空運航整備士資格を取得し、航空関連の企業に就職した者や、社会的養護が必要な子ども達を支援したく、資格を取得して就職につなげたいと、福祉系の大学に進学した利用者もいた。それぞれ、目標を決めて夢に向かい毎日を頑張っていた。まだまだ時間をかけて自分と向き合い暮らしている利用者もあり、利用者自身が自立の意味に気が付き、行動を起こすタイミングを大切にしている。職員は日頃の見守りを大切に利用者に関わる事ができていた。

また一人暮らしをすでにしている利用者へのアフターケアの相談に対応する機会も年々増え、現利用者への支援と退居者への支援のバランスも考え、一人の職員に大きな負担がかからない様、職員全員で協力し合い、子ども達の支援につなげる事ができた。退居者がホームに帰って来た際に、現利用者に向けて社会に出てからのアドバイスなどを話してくれる良い姿も見られた。

コロナ禍の影響で利用者はアルバイトが減り、収入減が影響するケースもあったが、ホーム料を免除し金銭負担を軽減させた。

来年度は、利用者が主体となり、社会参加して人から「ありがとう」と感謝される経験をたくさんしてもらいたいと考えている。人から感謝され、自身を振り返る事で、それが自立につながり、自身が成長できる企画を利用者みんなで考えていきたい。そして来年度も未来の杜で暮らす利用者が、安心して暮らせる様、職員とのチームワークを大切に温かいホームにしていきたい。

1. 実施状況

(1) 入所児の受け入れ

- ・入所理由、家庭状況等の理解
- ・一人暮らしに向けた生活の仕方、決まりを教える
- ・就労支援と就学支援
- ・金銭管理、貯金
- ・職員との関係作り

(2) 退居児のアフターケア

- ・関係機関との連携
- ・退居児からの相談や家庭訪問

(3) 利用者の安心した生活環境を作る

- ・環境整備
- ・家庭菜園
- ・温かい雰囲気
- ・地域との連携
- ・利用者同士の和やかな人間関係

(4) 対外諸機関及び社会資源の活用と相互協力

- ・児童相談所、福祉事務所、市、町、学校、地域、他諸機関との連絡や協力

①年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	入学・進級を祝う会、	10 月	ハロウィン
5 月	お誕生日会	11 月	お誕生日会
6 月	お誕生日会、健康診断	12 月	クリスマス会、大掃除
7 月	七夕	1 月	初詣、お誕生日会、健康診断
8 月	お誕生日会	2 月	節分
9 月	お誕生日会	3 月	ひな祭り

2. 施設管理

①職員配置

- ・保育士2名 ・社会福祉士1名 ・補助員2名 ・統括支援者（千葉みらい響の杜学園施設長）

②施設内研修

- ・利用者の権利、虐待の防止のための研修を実施
- ・千葉みらい響の杜学園の職員研修に参加

③防災計画

消火器等の消火用具、非常口その他災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に関する具体的な計画を立て、これに対する不断の注意と定期的に避難・救出その他必要な訓練を行う

④苦情解決体制

- ・利用者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置
- ・苦情の公正な解決を図るために、苦情の解決に当たって、職員以外の者を関与させるものとする

〔子里〕（千葉市）

■ 事業報告概要 ■

開設 2 年目。千葉市児童相談所から夜間電話相談事業を受託したことにより、常勤職員 3 名、常勤的非常勤職員 2 名、非常勤職員複数名の体制となった。そのため、子里学級（フリースクール）や子育て短期事業（ショートステイ等）、子どもの居場所作りや無料塾を安定して運営出来るようになり、支援の幅が広がっている。コロナ禍の影響から、引き続き実施出来ていないイベントもあるが、子里の認知度は確実に広がっている。関係機関から協力や連携を求められることも増え、児童相談所からの指導委託も 3 件受けている。土台作りが出来たため、来年度は更に内容を充実させる一方で、1 つ 1 つの支援の質を向上させていきたい。

○相談実人数 新規 107 件（前年 110 件） 継続 247 件（前年 108 件）

○対応件数合計 2,155 件（前年 1,071 件）

相談延件数 1,685 件（前年 605 件）

市町村の求めに応ずる事業 10 件 里親等への支援 44 件 関係機関との連絡調整 416 件

1. 実施状況

(1) 様々な種類の相談に応じる

例えば、乳幼児期であれば発達や障害について、学童期であれば不登校や学習の遅れについて等、全ての年齢層の子どもの相談に対応している。親自身の困りごとにも、経験と専門知識をもとに助言することが出来ている。様々な経験を積んできた職員のネットワークを活用し、福祉・医療・教育機関などとも連携している。少しでも早く相談者の気持ちが楽になるように、相談したい旨の連絡があった週末には実際に会って詳細を聞くスピーディーな対応が出来た。ただ話を聞いて“様子を見ていきましょう”で終わらせず、具体的に何をするべきかの助言をしているため、相談者の安心に繋がっているように思われる。

(2) 適切なアセスメントと心理的アプローチを行う

「すぐに」「柔軟に」対応することを考え、活動している。例えば、心理検査をしに来てもらうことが難しい場合は、来やすい場所（学校）へ出向いた。アセスメントをした上で、子里では何が出来るのか、他の機関では何がしてもらえるのかを説明した上で、相談者に選択をしてもらっている。必要があれば心理療法や SST を行っているが、体制上の受け入れの限界も見えてきており、工夫が必要であると考えている。

(3) 里親・ファミリーホームとつながる

未委託里親や養子縁組家庭に対象を絞ったサロンを引き続き開催したが、ニーズがあまりないことがわかったため、来年度は行わない方針である。その代わり、誰でも参加できる子育てサロンの対象枠を広げ、定期的に開催していく。里親家庭が参加したいな、参加しても良いかなというイベントを市内の関係機関と一緒に考えていく。本体施設から措置変更になった子どもがいる里親家庭への訪問は、継続して行うことが出来ており、良好な関係を築いている。職員が替わらないことがセンターの強みになっている。

(4) スーパーバイズ、コンサルテーションを提供する

センターとしての実績が出来てきたため、少しずつ存在が周知されてきている。これからも役

に立てることはないかを考えていく。新型コロナウイルスの状況が落ち着けば、施設見学等を積極的に行い、更なる連携を図っていきたい。

(5) 独自の取り組み

①不登校の子どものための子里学級の運営（フリースクール）

令和4年3月末時点で、小学生7名、高校生2名が継続的に利用している。継続的な利用にはなっていないが、必要時に利用する子も複数人いる。送迎があれば学校に行ける子、午前中は子里学級で過ごし給食から学校に行く子など、子どもの状況に合わせて対応している。子里が関わることで停滞していたケースが動き出している。学校とも出来る限り情報を共有するよう努めている。定員に限りがあるため、新規の受け入れが難しくなっている。

②学習が遅れている子どもや発達障害を持った子どものための学習支援

令和4年3月末時点で、小学生2名、中学生1名が継続的に利用している。不定期で利用する子も複数人いる。需要があるものの、交通の便の悪さがネックとなっている。学習面の支援が、心理的な支援にもなっている。

③家庭環境に課題がある子どものための放課後の居場所作り

千葉市がおこなっている「どこでもこどもカフェ」に登録し、「子里カフェ」を開催している。新型コロナウイルスの影響でイベントの計画が思うように出来なかったが、1度だけ千葉大のボランティアサークルと出張駄菓子屋を行った。遊ぶ場所で気軽に参加出来るため、相談をしようかどうかと考えている人にとっても良い見学の機会となっている。

④育児疲れや出産のためのショートステイの受け入れ強化

需要の多い土日は、毎週受け入れを行った。長期の利用についても受け入れが可能なものは受け入れた。最近では利用希望者の中に、児童相談所が関わっている家庭が増えてきている印象がある。必要な家族が支援を受けられるように、引き続き体制を強化していきたい。子育て短期支援事業に児童家庭支援センターが関わることで、支援がつながりやすくなると感じている。

⑤夜間子どもだけで留守番をさせないためのトワイライトステイの受け入れ強化

父子家庭1家庭について、必要とする日数は全て受け入れられるように体制を整えた。特定の家庭に対してだけでなく、必要とする家庭に十分な支援を行うための制度改革を引き続き訴えていきたい。

①年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	10 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）
5 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	11 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）
6 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	12 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）
7 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	1 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）
8 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	2 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）
9 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）	3 月	職員会議・職員研修（響の杜と合同）

2. 施設管理

①職員配置

・センター長 1 名 ・心理療法士 1 名 ・相談員 4 名（常勤 2 名・常勤的非常勤 2 名）

②防災計画

千葉みらい響の杜学園の計画に則って行った

年間行事

月	内 容	月	内 容
4 月	入学・進級・進学を祝う会 お誕生日会	10 月	秋の外出、ハロウィン、お誕生日会
5 月	春の外出、お誕生日会	11 月	芋掘り、お誕生日会
6 月	児童健康診断、お誕生日会	12 月	クリスマス会、大掃除、お誕生日会
7 月	七夕の会、お誕生日会	1 月	初詣、お誕生日会
8 月	キャンプお誕生日会	2 月	節分、健康診断、お誕生日会
9 月	お月見、お誕生日会	3 月	ひな祭り、お誕生日会

■ 事業報告概要 ■

今年度、富津市に自立援助ホーム希望の杜を開設する。自立生活援助事業だけでなく、児童相談所の依頼を受け一時保護や富津市の子育て短期支援事業も行った。

高校生1名でスタートしたが、半年後にはご入居者様が10名を超えた。緊急一時保護を含め、子どもによっては外出をさせられないなど様々な予期せぬ対応が迫られた。

一時保護の子どもたちは、児童家庭支援センターと連携し、学習や運動、読書などで教育を充実させた。また、職場開拓をし、近くのコンビニ、スーパー、ホームセンターなどでアルバイトの経験をさせた。

1年目である程度の流れはつかめたので、ご入居者様が安心して暮らし、働きながらお金を貯めて自立できるように支援していきたい。

1. 実施状況

①入所児の受け入れ

- ・入所理由、家庭状況等の理解
- ・一人暮らしに向けた生活の仕方、決まりを教える
- ・就労支援と就学支援
- ・金銭管理、貯金
- ・職員との関係づくり

②退所児のアフターケア

- ・関係機関との連携
- ・退所児からの相談や家庭訪問

③利用者の安心した生活環境をつくる

- ・環境整備
- ・温かい雰囲気
- ・地域との連携
- ・指導員、利用者同士の和やかな人間関係

④対外諸機関及び社会資源の活用と相互協力

- ・児童相談所、福祉事務所、市、町、学校、地域、他諸機関との連絡や協力
- ・社会資源の活用

2. 施設運営管理

①職員配置

- ・指導員5名
- ・補助員1名
- ・運営管理者1名（千葉みらい響の杜学園施設長）

②施設内研修

- ・利用者の権利、虐待の防止のための研修を実施

- ・千葉みらい響の杜学園の職員研修に参加

③防災計画

消火器等の消火用具、非常口その他災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に関する具体的な計画を立て、これに対する不断の注意と定期的に避難・救出その他必要な訓練を行う